

こんにちは！ **日本共産党** 京都市会議員

玉本なるみです

物価高騰が長引き、
暮らし向きは大変な状況が続いています。
今年こそは良い年にしたいものです。
市民の皆さんと共に頑張りたいと決意しています。



公式LINEに
ご登録をお願いします



健康保険証廃止は 許せない！



12月2日から
紙の健康保険証
の新たな発行が

されなくなりました。命の砦となる保険証をマイナ保険証に誘導するために、廃止したのは本当に許せません。マイナンバーカードの取得は任意であり、持つのも持たないのも自由です。国民皆保険制度のもと、保険証はすべての方に交付しなくてはならないものです。

多くの運動があり、保険証の代わりに「資格確認書」という形で保険証と同等のものが送られてくることにはなりました。しかし、マイナ保険証の方と資格確認書の方では、診察を受けた時の負担額が、少しでもマイナ保険証の方がお得としており、国民を分断するものです。命の平等の実現を求め頑張ります。



玉本 なるみ 委員
(共産党 北区)

市長総括質疑で「健康保険証の廃止撤回を国に求めるべき」と追求

市長総括質疑動画



市民の皆さんの 願いを詰めて…！



11月7日、来年度の京都市の予算編成に向けて、松井市長に日本共産党京都市会議員団の予算要求書を提出しました。予算要求書は夏前から、関係者や市民の皆さんのご要望を聞き、検討を重ね、案を作ります。そして、議会報告・懇談会を開催し、市民の皆さんに提案し、ご意見をいただき、さらに修正加筆を重ね完成させます。私はこの作業がとても大事だと思っています。市会議員団のホームページでご覧いただけます。引き続き、ご意見やご要望をお聞かせください。



▲日本共産党京都市会議員団の政策調査部会長として、予算要求書(案)を提案する玉本なるみ市議

予算要求書は
こちらから



実効力のあ
るものに
していきたい
と思っています。

今回の条例を理念に終わらせず、
政治と行政に問われています。
「親亡き後の心配」を語られます。いかに思いをお聴きし、応えていくのが、
政治と行政に問われています。
ある方は、「長いこと介護をしてきたが、こんなふうに見えてきたのは初めてだ」と話してくれました。障害のある方の親御さんの多くが「親亡き後の心配」を語られます。いかに思いをお聴きし、応えていくのが、
政治と行政に問われています。

住民の皆さんの
声を聴くこと

アンテナ

